

2 学期終業式

みなさんおはようございます。残暑を超え・気候変動により存在が薄まった秋を超え・本格的な冬を迎えています。気温の低下で心身が引き締まり気力が充実します。2 学期終業にあたり少し時間をいただきます。

様々な教育情報誌が人間教育の重要性を綴っています。今後、Society4.0-情報社会から Society5.0-サイバー空間とフィジカル空間を融合させた人間中心の社会構造が加速する等、書きぶりもあります。すべて真に受けず、日々情報を取集、又、精査し、学んでいます。私は思います。「いつの時代も人間中心である。人間教育は不易である」

そこで本日、人としての在りように少し触れたいと思います。50 期生の修学旅行によせた挨拶文の結びに、「品格のある行動」や「人間力」と述べさせていただきました。

[品格]について、人間教育の一部としてお聞きください。品格とは人や物にどこことなく備わっている上品さ・気品さ、気だかいこと。等、辞書には解説されています。互いに身に付けたいですね。品格のある人、どんな人か想像してみてください。

ある書に、・人のために行動できる・立い振る舞いが美しい・言葉使いがきれい・きちんと挨拶できる・感謝の気持ちを忘れない・TPOを理解している・様々な場面でのマナーを知っている・何があってもうろたえない・他者に怒りをぶつけない・自分に返す・清潔感がある・幅広い知識を有している・グローバルである・誘惑に勝ち、常に正しく生きる・学び続ける。等、人としてのありようです。参考にして下さい。又、時間があれば、漢文などにて授業でも学んでいると思いますが、「論語」にて示されている概念「仁」についても研究して見て下さい。人としてのありようは、流行に流されることなく本質的なものは今も昔も変わっていないように思います。また、人間教育は本校のスクールミッションの骨子である Well-being の実現に向けても大変需要です。人としてのありよう、参考にしていただければ幸いです。

それでは、明日からの冬休み、挨拶・思いやり・様々な学びを軸とし、人としてのけだかさをより高めることのできる生活を心がけてください。

加えて、新年（みどし）良い年をお迎え下さい。

1月8日（水）、元気に登校するみなさんを待っています。

以上、2024年の式辞とします。

貝塚南高等学校
校長 藤田繁也